

針と御神酒

教会長 高阪健太郎



建て替える以前の教会には増築した中二階の物干し場があった。あの日、母は膝の痛みからか、洗濯物を干しに行くよう私に頼んだ。「いいよ」と引き受けたがそのとき私は虫の居どころが悪く、しかも洗濯物の干し方について母が階下から「そうじゃない、こう干して」とあれこれ注文をつけてくる。陽当たりの良さや見栄え、母なりのこだわりだろうが、ついイラっとした私は「うるさい！」と持っていたハンガーを母に向かって投げつけてしまった。『しまった』と思った時にはもう遅い。母の「きゃあっ」という悲鳴と身を庇う仕草に我に帰った。幸い母にはあたらず安堵したその瞬間、私の耳元で「ぶーん」と音が聴こえた。その直後、後頭部に激痛が走った。大きな蜂だった。



「痛い！ハチに刺された」母の表情が変わったのが見えた。私がどうにかこうにか物干し場から降りると、母は御神酒を口に含むと「ぷうーっ」と吹きかけ、「金光さま…金光さま…」と唱えながら摩ってくれた。おかげで痛みは引き、跡が腫れることもなかった。

後で事の顛末を知った父の一言、「ほお、それは『頂門の

一針』ということだなぁ」。『頂門の一針』とは頭上の急所に一本の針を刺す、転じて、相手の急所をおさえて教え諭す、つばを心得た忠告。適切な戒めの意。親に向かって物を投げつける非礼を戒める、あの蜂はまさに神の差し向けだった。後に知るのだが父は秘めた信条があった。「鱗一枚傷つけず生け捕りにする」。諄々と説教する人ではなかったが、ここという時の一言は実に的確であった。

以来、蜂には刺されていないが、父の放った頂門の一針が、いまも私の心に刺さり続ける。そして、母の吹いてくれた御神酒が、これからずっと私の心に沁み続ける。

公式 LINE の配信制限について

LINE 公式アカウントお友だちにご登録くださり厚く御礼申し上げます。

「朝の感話配信を楽しみにしています」との声が励みになっております。

これまで月に十数回できた配信が、6月のプラン改定で無料配信枠が大幅に削減され、月3～4回が限界となってしまいました。配信は減りますが、今後とも伊勢教会 LINE 公式アカウントを宜しくお願いいたします。

予定表【行事及び留守日】

7月

- 1 (土) 月始祈願祭 (10:00)
- 2 (日) 峯子先生五十日合祀祭 (11:00)
- 7 (金) 県連オンライン教師集会 (13:00~16:00)
- 9 (日) 公園清掃奉仕 (6:00)
- 10 (月) 金光大神月例祭 (10:00)
- 12 (火) 大津親教会月参
- 22 (土) 天地金乃神月例祭 (10:00)
- 29 (土) 守治会信心実習会 (大津教会) 参加者を募ります
教区オンライン教師集会 (13:30~17:00)
(追加変更は公式 LINE、ホームページでお知らせします)

《開門》

平日 6:00~18:00

土日祝祭日 8:00~18:00

《御祈念》

平日 6時・14時

土日祝祭日 10時・14時

《月例祭》

1日 月始祈願

10日 金光大神祭日

22日 天地金乃神ご縁日

(いずれも 10時)

金光教伊勢教会

〒516-0073

伊勢市吹上1丁目 8-25

TEL 0596-28-5869

<https://ise.konko.info>

 ise@konko.jp

信徒会にご入会ください

年会費一人一口 1,000円

(最小二口 2,000円~)

振込先 東海労働金庫

伊勢支店 3 8 2 7 6 3 7



伊勢教会ウェブサイト
<https://ise.konko/info>



伊勢教会
公式 LINE アカウント